



歯学部における研究費の現状

研究担当 鈴木 直人

本学部には、学内研究費として佐藤研究費、総合歯学研究所研究費および上村安男・治子研究費があります。佐藤研究費は、本学の創設者である佐藤運雄先生の著書「医学歯学事典」の印税を基金として制定されました。その運用基金は、これまでの様々な寄付によって増額され、現在では34億円に達しています。一方、上村安男・治子研究費は故上村安男先生の寄付によって平成9年に制定され、給付金は基金の果実によって賄われ、その運用資金は現在5億860万円になります。学内研究費の2020年度の給付実績は合計で60件となっています。

本学部では、文部科学省所管の科学研究費補助金のような学外の研究費についても積極的な獲得を奨励しています。研究委員会では科学研究費補助金の申請にあたって、できるだけ多く採択されることを目指して事前査読を行っています。これによって毎年、採択率は確実に増加し、科学研究費補助2020年度の交付実績は合計70件で、日本大学全体では7位の採択率です。

質の高い研究を推進し、多くの業績を挙げるためには研究費の獲得が必須です。今後は、より多くの質の良い研究を推進して多くの業績を発表し、さらなる研究費の獲得をめざすように歯学部として努力してゆくとともに、研究委員会はそのサポートをしていきたいと考えています。

(教授 生化学講座)

新入生オリエンテーションを 終えて

第1学年クラス担任 西尾 健介

本年度の新入生オリエンテーションは、4月2日（オリエンテーションⅠ）と4月16、17日（オリエンテーションⅡ）に実施されました。2日および16日は対面で、17日は遠隔での実施となりました。

対面でのオリエンテーションは徹底したコロナウイルス対策のもとで行われ、学生も緊張していましたが、それ以上に教職員も緊張しているように感じました。オリエンテーションⅠでは、第1学年での学修について、特に翌日から開始される遠隔授業の受講方法について説明がありました。16日の対面でのオリエンテーションⅡでは、学部要覧や試験などの学務関連の説明や学生会組織や先輩からのアドバイスなど学生生活関連についての説明がありました。

大学への入構が制限されている中、学生同士のコミュニケーションの機会は、例年以上に重要です。その中で、今回のオリエンテーションは、新入生にとって数少ない、同級生と実際に会える機会でした。こういった状況であるからこそ、本年の第1学年には、例年以上に学年の団結力を高め、充実した学生生活を送って欲しいと願っています。（助教 歯科補綴学第Ⅰ講座）

オンライン会議システムを利用した オリエンテーション

第1学年クラス担任 佐藤 紀子

例年、新入生オリエンテーションは、「校内」と軽井沢研修所での宿泊を伴う「校外」の二部構成になっています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、校外でのオリエンテーションは実施されませんでした。

4月16日と17日に開催されたオリエンテーションⅡの2日目は、オンライン会議システムを用いて遠隔で行われました。少人数のグループを作り、話し合いの機会を設定しました。学生は試験の方法や成績評価に関する問題を仲間と解いたり、どんな学生生活を送りたいか話し合ったりする中で、互いを少しずつ知ることができたようです。対面でのコミュニケーション機会が少ない中、「いろいろな学生と話せてよかった」「不安や悩みを共有できた」と言う声も多く、学生からは好評でした。新型コロナウイルス感染症が収束し、通常の学生生活に戻れることが一番ですが、制限の多い日々の中でも、コミュニケーションの可能性が感じられた一日でした。（准教授 健康科学分野）

オリエンテーションに参加して

西澤 俊太郎

オリエンテーション当日、私は新入生代表として挨拶をするという大役を任されていた。独特な雰囲気にも緊張していたが、私がここで気持ちの良い挨拶をすることで、自分のみならず歯学部に入學する第一学年の学生が皆、素晴らしい大学生活の一步を踏み出すことができると信じ、挨拶に臨むことができた。多くの学生の前に立ち、挨拶をしたことは大いに貴重な経験であったと思う。この経験を無駄にしないような学生生活を送りたいと思う。

（第1学年）



崔 裕景

ZOOMミーティングはコロナ禍において、多くの友達と会うのに最適の方法だと思う。

遠隔オリエンテーションのグループミーティングの前には少し緊張した。初めて友達と話す機会であり、外国人である私は日本語で自由に話すことが、まだ少し難しいからだ。対面オリエンテーションで実際に友達と顔を合わせたか、フェイスシールドとマスクをした状態での対話は非常に難しかった。私のように日本語が母国語でない場合、相手の口を見ないで対話することはさらに難しい。ZOOMミーティングは相手の顔と口の形を見て対話できることが利点だ。遠隔でのオリエンテーションは、コロナという危険を避けて友達と話し合えるとても良い時間だった。



コロナウイルス対策の様子

（第1学年）

クラブ紹介を終えて

クラブ協議会会長 飯村 宗一郎



4月10日に2年生、17日に1年生にそれぞれクラブ紹介を行いました。2年生にとっては、1年越しのクラブ紹介となつてしまい、長期間お待たせすることになり、すみませんでした。

例年であれば、実際に先輩達に会い、顔を見て、話を聞き、

食事やクラブ体験を通して自分の入りたいクラブを選択してもらっていました。しかし、昨年からのコロナウイルスの影響で今年度のクラブ紹介は各クラブが製作した紹介動画をオンライン上で観てもらうものになりました。どのクラブも一生懸命動画を製作してくれ、短い動画の中で自分達のクラブの魅力を十分に伝えられていたと思います。

実際に動画を観て、クラブの雰囲気を感じることで、入学当初に考えていた入部を希望するクラブが変わったり、興味がなかったクラブが気になり出した学生も多いのではないのでしょうか。1、2年生にとってはまだまだ物足りなさが残る内容だったかもしれませんが、初めてクラブ活動の様子に触れ、大学生活が始まったという実感が残るイベントになれば幸いです。

日々変化するコロナの状況や我々も入構回数を制限されていることから、なかなか実現に至っておりませんが、1、2年生と先輩達が実際に交流できるようなイベントができるよう、協議を重ねています。

クラブ活動が禁止になってから1年以上が経過しました。現状、クラブ活動再開の見込みは立っていません。1、2年生に限らず、どの学年の学生も日々ストレスが溜まる生活を送っていることと思います。当たり前のようにあった日常が突然なくなり、本来であれば1、2年生と仲良くクラブ活動をしていたはずが、会うこともなく引退を余儀なくされた上級生も多いはずで



会長と副会長の新井勇史さん(左)

を心待ちにしています。今は我慢の時です。誘惑も多いことと思いますが、みなさん一人一人の責任ある行動の積み重ねがあればクラブ活動再開へのカウントダウンは進んでいくと思います。(第5学年)

クラブ紹介の動画を視聴して

島田 翔太郎

クラブ活動を大学生活での楽しみの一つと考えていた人も多いと思います。どのような活動をしているのか、どのような人がいるのかという疑問を抱えながら入学から2週間が過ぎました。そのような中、先輩方が作成してくださった動画のおかげで、疑問を解消することができました。私はコロナが収束したら運動部に入ろうと考えています。スポーツが好きなのはもちろん、縦の繋がりも大切だと考えるからです。皆さんと一緒に活動できる日を楽しみにしています。(第1学年)

山崎 映実

私は大学生活において、クラブ活動を楽しみにしていましたが、コロナ禍で活動できず、残念に思っていました。今回、クラブ紹介動画で活動内容について詳しく知ることができました。クラブ活動を通して、先輩方との関係を築いたり、仲間とも親交を深めたりしながら、学業との両立を図り、より良い大学生活を送れたら良いなと思いました。いつ再開できるかわからない状況が続いていますが、1日でも早く活動ができる日が来るのを楽しみにしています。(第1学年)

石塚 悠希

入学して1年が経ちました。コロナ禍の春も2回目となりましたが、未だに収まる気配がみえず不安が募ります。そんな状況下ではありますが、クラブ活動のことは気になるもので、きっと多くの学生も同じではないでしょうか。4月10日にクラブ紹介の動画がクラブ協議会から配信され、視聴しました。今までクラブ活動が制限され、活動内容や雰囲気を知る機会がありませんでしたので、大変貴重な機会となりました。動画では、限られた時間の中でも、各クラブが様々な工夫をして紹介をしていました。非常に楽しそうな動画ばかりで、どこに入るか迷っているところです。私はクラブ活動を通して、同学年だけでなく、他学年とも、そして大会などで会う他大学とも、学生同士で交流し合い、多くの視点、経験を得たいと考えています。また、クラブ活動は大学生活の醍醐味の1つでもあるので楽しみです。未だ活動の再開がいつになるのかわかりませんが、参加できることを非常に心待ちにしています。



(第2学年)

動画配信の様子

第114回歯科医師国家試験発表を終えて

学務担当・学習指導委員会委員長 今村 佳樹

第114回歯科医師国家試験は、1月8日に2回目の緊急事態宣言が発出された下での受験となりました。本年は三密を避けるため、例年、行っているクラブ活動の後輩等による激励セレモニーや試験会場への教員の同行も自粛し、たいへん静かな国家試験当日の朝を迎えました。受験した学生は例年と異なる環境に心細さを覚えたことと思います。令和2年度は、第1回の緊急事態宣言から入構制限が始まり、講義も実習もすべて遠隔授業による対応となりました。例年であれば、大学で友人と国家試験対策を行いながら、学習上の疑問点を教員に相談できたことが、昨年度は1年を通して、それができませんでした。特に対面授業を模索した後期に、新型コロナウイルス感染症の感染例が複数発生し、6年生を含めて入構禁止にせざるを得なかったことは、大変申し訳なかったことでした。歯学部としては、遠隔授業ならびにオンラインの個人面談を通して学修サポートを行ってきましたが、対面授業に比べて質問の行いやすさ、学修意欲の高揚や集中力の維持、精神的な孤立に対する相談など、学生が学修を行う上での環境は、従前に比べて困難を伴うものであったと思われます。このような中で6年生は、良く最後まで耐えて受験したと思います。

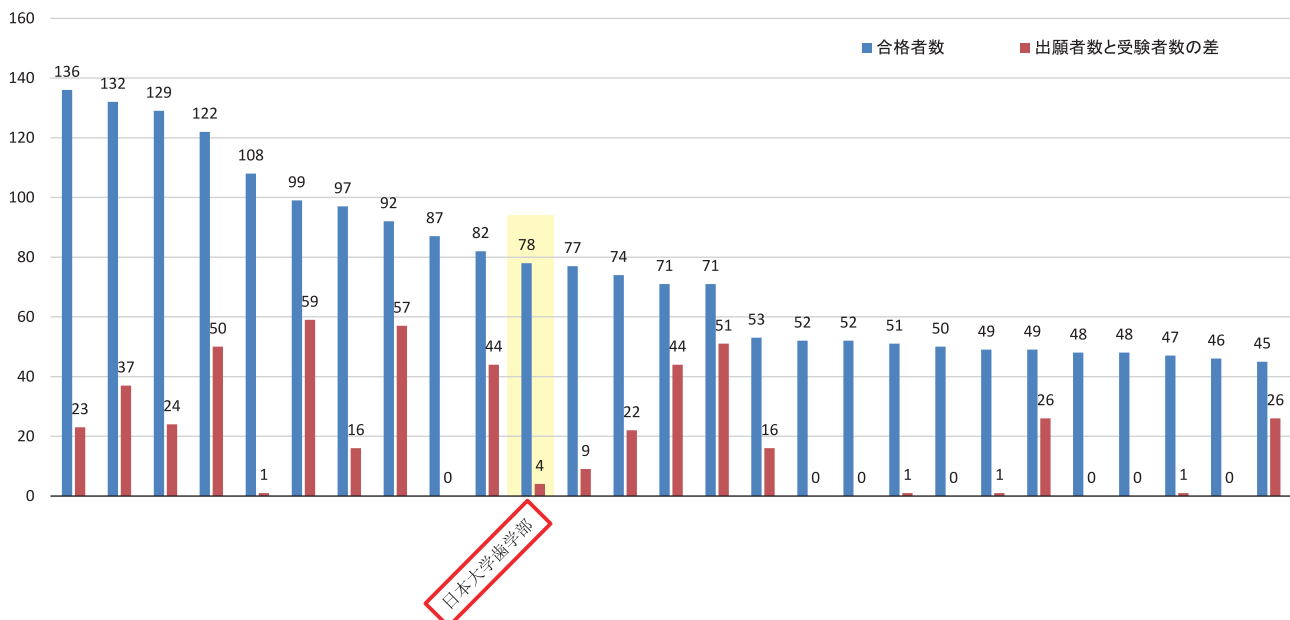
さて、3月16日に第114回歯科医師国家試験の合

格発表がありました。日本大学歯学部では、伝統的に歯科医師国家試験に合格する可能性のある学生には、可及的に受験の機会を与え、1名でも多くの学生に合格するチャンスを与えてきました。本年度も出願者数と実際の受験者数の差異が4名という数値は私立歯科大学の中で2番目に少ないものです。一方、例年、私立歯科大学の中でトップを争う合格者数を誇っていますが、本年度は、合格者数が78名で全国の29歯科大学の中で11位でした。本年度の現役学生の出願者数は95名と昨年の129名から34名少なく、これはそもそも6年生の在籍者数が少なかったことが大きな要因となっていますが、もう一つの要因は、現役の合格率が53.8%と大変厳しかったことにあります。昨年度は、大学に入構する機会が統合試験の受験以外には殆どなく、このきわめて特殊な環境において、実力を評価することが難しかったことも一因と考えられます。令和3年度は、可能な限り6年生には入構してもらい、対面での授業を受けるように指導しています。その上で、個々の学生の学習能力の適正な評価を行い、歯科医師国家試験の受験につなげてゆきたいと考えています。学習指導に当たる教員は、本年の結果を基に第115回歯科医師国家試験にはその教訓を生かして臨む覚悟でいます。

(教授 口腔診断学講座)

第114回歯科医師国家試験

本学部の合格者総数(新卒+既卒)と出願者数と受験者数の差



研修歯科医の採用について



卒業教育担当 武市 収

2006年4月から歯科医師臨床研修制度が法制化され、早や15年目を迎えます。日本大学歯学部附属歯科病院では、これまで時代のニーズに即した研修システムを構築し、様々な研修カリキュラムを実施してきました。そのため、学内のみならず、学外の卒業生からも好評を得ており、毎年多くの研修希望者によるマッチングを行っております。

研修歯科医は当歯科病院の総合診療科に所属し、管理型臨床研修施設（日本大学歯学部附属歯科病院）における研修を基本としながら、100を超える協力的臨床研修施設において臨床経験豊かな厳選された指導歯科医の指導の下、診療にあたるのが可能です。歯科治療における適確な診査・診断が行え、それに必要とされる技能の習得ができるよう、様々なコースを用意しております。

SCOPRコースでは、管理型臨床研修施設と協力的臨床研修施設で研修を行います。管理型臨床研修施設では、口腔外科、補綴科あるいは保存科で研修を行うため、広く一般歯科臨床を学ぶことが可能です。CDコースでは、管理型臨床研修施設内の口腔診断科および総合診療科で12か月間の研修を行い、指導歯科医の指導の下、初診から治療終了まで総合的な診療にあたります。

この他に、短期研修として歯科矯正科、小児歯科、摂食機能療法科、歯科放射線科などの診療科や島しょ地区（伊豆諸島）での離島診療研修、保健所および東京都心身障害者福祉センターでの研修が可能ですので、非常に自由度が高いプログラムとなっております。

学部教育で習得した歯科診療に関する知識、技能および態度を臨床の場に結びつけ、歯科医師としての基本的診療力を身に着けるよう、シームレスな教育を行うことが必要とされています。当歯科病院での研修により、歯科医学および歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、様々な症例に対応できるよう、総合的な判断力と知識・技術を習得できる人材を育成して参ります。

（教授 歯科保存学第Ⅱ講座）

歯科医師臨床研修を終えて

宮田 泰伎

私は専門診療科で3か月、協力的研修施設で9か月の研修を行うコースを選択しました。コロナ禍で例年とは異なる部分があり不安な日々もありましたが、指導医の先生方のサポートを受け乗り越えることができました。

専門診療科では、顎義歯やインプラント義歯などより高度な治療を診ることができ、歯科医師としての視野を広げることができました。

協力的施設では、多くの患者さんに触れさせてもらい、治療の基本や患者さんへの対応を学ぶことができました。

私はまだ歯科医師人生のスタートラインに立ったばかりではありませんが、その一歩目としてかけがえない研修ができたと思います。

（本学部卒業）



歯科医師臨床研修を終えて

渡邊 泰斗

COVID-19に翻弄された年ではありましたが、1年間の研修を振り返るとたくさんの学びを得ることができました。協力的施設では、マイナス面ばかりを見るのではなく、可能性に目を向けることで何倍も成長できることを教えていただきました。

また、専門診療科の指導医の先生方からは、治療に対する熱意を持つことの大切さや社会人としてのあり方を指導していただきました。日本大学の臨床研修を通して

学んだことは、私の歯科医師人生においてかけがえない財産です。これからも歯科医療の価値を高めるため邁進してまいります。



（他大学卒業）

特集 「日本大学歯学部 未来を聞く」

今回の記事で最終となりました。今後の歯科医療の在り方を考える指針となれば幸いです。ご執筆いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

最終回 「With コロナ時代の臨床・ 研修の在り方」

卒後教育担当 総合診療部長 武市 収

新型コロナウイルス感染が、中国湖北省武漢市において報告されたのが2019年12月です。その後あっという間に世界を席卷するようになり、国内外の生活様式は一変しました。変異株も出現し、イギリスからアルファ株、南アフリカからベータ株が広がりました。そして現在ではインドから広がったデルタ株の勢いが凄まじく、これまでの変異株にとって代わろうとしています。

日本大学歯学部附属歯科病院では時代のニーズに即した様々な臨床研修プログラムを有しております。プログラムによって異なりますが、研修歯科医は管理型臨床研修施設（当歯科病院）や協力型臨床研修施設において日々患者様の診療を行っています。

2020年4月から5月にかけて1回目の緊急事態宣言が発出されました。それを受けて、日本大学歯学部附属歯科病院では病院機能を大幅に制限し、診療アポイントの削減を行いつつ病院の運営を継続しました。同時に、研修歯科医の臨床研修も大幅に縮小せざるを得ない状況となったわけです。緊急事態宣言が解除されてからは病院機能を徐々に戻し、現在では平常通りの診療体制となりました。

安全な歯科医療を提供するに当たって最も重要なことは、スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施率を高めることです。針刺し事故を防止するための安全対策を徹底することは必要不可欠です。また、患者様の歯科治療を行うことによって、唾液や血液などの体液に触れたり、歯の切削や歯石除去時にエアロゾルを発生させたりすることから、PPE（personal protective equipment：個人用防護具）の使用の徹底は最重要です。すなわち、従来からマ

科研費の応募と 取得状況について

今井 健一

科学研究費助成事業（科研費）の採択結果が4月1日に発表されました。速報値では、歯学部の新規採択率は23.1%（申請数78件、採択数18件）でした。これは医学部の25.6%に近い値でしたが、申請数が前年度の99件から21件も減ったのは残念です。

振り返ると、当学部の平成30年度の新規採択率は16.5%（申請数91件、採択数18件）でしたが、新規応募者への説明会や研究委員会による申請書の事前査読、研究事務課による細部にいたるまでのスタイルチェック等が実施されたことにより、令和元年度は24.8%（申請数101件、採択数25件）、令和2年度は27.3%（申請数99件、採択数27件）と上昇しました。大学に籍を置いているだけで、科研費申請の権利を得ます。開業医の先生方は研究に対する熱意やアイデアを持っていても応募することが出来ません。まだ応募していない先生におかれましては、是非科研費に応募し、研究を推進していただきたいものです。また本学部としては今後、基盤研究B以上の大型研究費への申請・獲得を増やす努力が必要で、学部としてそのための環境を整えることも重要かと思えます。

なお、科研費の使いやすさ向上のため（4月の採択結果発表だと人材や機器等の申請計画が立てづらい）、今年度の応募締切は1か月程度前倒しとなり、8月となっていますのでご注意ください。これまでは多くの申請者が4月1日の採択発表を不安と期待をもって迎えていたと思いますが、次回からその時期が2月の末に前倒しとなります。

（教授 細菌学講座）

スク、ゴーグルとキャップを装着しておりましたが、2020年4月からはそれに加えて、ガウンとフェイスシールドの着用を義務付けております。

このような感染防御対策を徹底することにより、治療する研修歯科医にとっても、治療を受ける患者様にとっても、安心安全な環境を確保することが可能となりました。新型コロナに感染しない、感染させない、を合言葉に、今後も研修歯科医の育成を行ってまいります。（教授 歯科保存学第Ⅱ講座）

いま夢中ですが、
この仕事！

「遠隔実習への取り組み」

鈴木 秀則

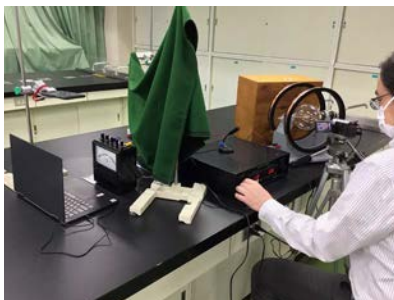
私の専門は統計物理学・物性基礎論という分野で、最近、非平衡系の内部状態の変化を情報幾何学の観点からの距離として定量的に解析する手法の一般論を古典系に対して展開しました。これは量子系に対しても拡張が可能で、特にLindblad方程式で記述される量子開放系への応用が現在の課題のひとつです。また、共同研究として、CT画像から歯や顎骨に関する詳細な情報を抽出する研究にも、鋭意取り組んでいる最中です。

研究に対して夢中であることは日常のことですが、昨年来のコロナ禍により、それまでの日常とは大きく状況が変わりました。授業の形態も一変し、物理学実験の科目では昨年度は実習も含めて全て遠隔での授業、本年度前期は遠隔と対面のハイブリッド形式となっています。

遠隔での実習は、実験の様子を撮影した動画の視聴、動画内で提示されたデータの処理、レポートの作成・提出という構成で、出来る限り実際の実験と遜色ない学習効果を、という思いのもとで資料の作成をしています。慣れない動画の撮影は手探り状態で始まり、大変なことも多々ありましたが、いつの間にか夢中になっていました。放電管内の暗い電子線の鮮明な画像を撮るために、夜、部屋と廊下の照明を消した暗闇の中での撮影を数日にわたり繰り返したこともあります(電子の比電荷を測定する実験で、質量分析器の基本原理です)。しかし、このとき撮った動画は編集の途中でボツにし、改めて、電子線と電流計の目盛を同時に撮影し直しました。実験では電子線の軌道をコイル電流が作る磁場で制御するのですが、電子線と電流計を同期させて同じ画面で表示することで電子線の軌道と電流値の関係性を視覚的に捉えることができます。実際の実験では電子線と電流計を同時に確認することは不可能でも、動画では可能です。

このような動画による遠隔実習ならではの利点は他にも探せば色々あるのかもしれませんが、もちろん実際に学生自身が自分の手で操作して実験できることがベストであると思いますが、現時点での遠隔実習なりのベストを探り、授業内容の改善に努めています。

(助教 基礎自然科学分野)



登院式を終えて

小見山 奏



令和3年4月1日、百周年記念講堂にて、登院式が執り行われました。コロナ禍の中、感染対策を講じた上で、挙行していただきありがとうございました。新しい院内服に袖を通して、いよいよ登院することを実感し、身の引き締まる思いでした。この日を迎えるまで東京都の感染者数が一向に減らず、このまま登院の日を迎えることができるのか、不安な日々を過ごしていた私たちにとって、とても感慨深い1日となりました。

例年とは異なる情勢で様々な制限がある中での臨床実習となります。有意義な時間となるよう工夫しながら、これまでで得た知識を礎とし、臨床での実習を学び、将来に生きる知識と技術を身に付けていきたいと思っています。さらに臨床実習以外の日々の生活においても、医療従事者となる者として、最大限の注意を払い、自覚をもって過ごしていくことを、院内生一同で共有しなければなりません。

専門職へ進む第一歩としての臨床実習を前に、希望と期待と少しの不安を感じていますが、一步一步学びを進めていく覚悟です。5年生113人、それぞれに目標を持ち、課題に真摯に向き合い、互いに切磋琢磨しながら貴重な1年間を過ごしてまいります。教職員の先生方におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

(第5学年)



登院式の様子 百周年記念講堂

随 想

歯科疾患実態調査とわたし



尾崎 哲則

多くの皆さんにとって「歯科疾患実態調査(以下：実調)」は、国家試験に出る「あれね」という感覚でしょう。わが国の歯科保健施策を決定する重要な調査ですが、地域歯科保健が専門の私にとっては、ずーっと付き合ってきた「思い出」でもあります。

初めて、深い付き合いになったのが、大学に教員として採用された昭和62年度末のことです。厚生省(現：厚生労働省)の会議室に2週間の期限付き国家公務員として集まり、一枚一枚の検診票の項目間に矛盾がないか確認しながら、電算入力に対応できるように、コード化する作業をしました。そこで、初めて大規模な国の調査の一端を体験しました。次いで、平成5年実調では、この作業の班長に、そして、平成11年実調では委員長になり、若い先生方から出た疑義について対応したり、不明な点は実際に調査した「先方の保健所」へ問い合わせをしたりして、精度を上げていきました。

一方、このとき東京都では、診査方法を調整した大学教員のみで、実調の都内の対象地区調査を行い、精度の高い東京都実態調査データを構築し、その後の東京都の歯科保健目標等の作成に結びつける仕事をさせていただきました。また、この調査から歯周疾患診査は「CPI」が用いられましたが、これは、私たちが翻訳したWHOの「口腔診査法4」から応用したもので、この前の数年間、WHOの国際比較調査と老人保健法に基づく歯周疾患検診の構築でCPIを私自身が応用していましたので、思い出の深いものです。さらに、この11年データは、オーストラリアのアデレード大学で共同研究した日豪の比較調査にも、重要な役割を果たしました。

その後の平成17年、23年は集計等では直接関わっていませんでしたが、現場での口腔診査は続けました。そして、思いもよらぬ「健康日本21(第二次)」の審議会の委員に任命され、平成17・23年度データをベースにいくつかの目標値を算定し提案しました。さらに、23年の実調後、今後の国の計画との整合性を考慮し、6年毎より5年毎が望ましいといった研究もさせていただき、平成28年から5年毎の実施の運びとなりました。ちょうど行政でも多くの歯科保健関係者の入れ替わり時期になり、28年の私の口腔診査の様子は画像として、若い先生方に見られ、嬉しいやら恥ずかしいやらでした。そして、教員として最終年度になる今年、実調が11月に実施予定になっており、最初から最後まで実調とともに歩めたことに、感謝したいと考えております。(教授 医療人間科学分野)

男女ともに歯科医師として 生涯現役で活躍を！

金子 忠良



先日、今年度の在籍状況の資料を拝見して、全体に女子学生が増加したことを実感しました。男女別に数えてみると、各学年の4～5割を女子学生が占めています。40年前の本学では、女子学生が少ないというイメージ

でした。早速、昔の名簿を引っ張り出して数えてみると女子は171名中34名、約2割でした。いつ頃から女子学生が増えたのか。私が本学に赴任した2012年から9年間、歯科医師を目指す入学志願者の面接試験官を担当してきました。面接を担当したグループでも、此の所女子の割合が多くなっているように感じていました。また、面接時の応答は勿論学生により様々ですが、その答弁において、男子に比べて女子の方が明朗快活な学生が多いような印象を受けました。

因みにこの9年間、一般選抜試験における男女別合格率(合格者/受験者)は、男子が22.2～50.8%で平均32.3%、女子が23.3～60.6%で平均37.0%でした。合格者のうち女子が占める割合は、40.3～54.3%で平均45.2%でした。全国の歯科大学における女子学生の占める割合(女子学生比率)の平均は、国公立(12校)が46.1%、私立(15校)が40.5%となっています(2020年10月時点)。

本学歯学部受験生の合格率は女子が若干高いがほぼ男女は近似し、学部の女子学生比率は45.2%で国公立歯科大学に近い割合でした。本学の学生諸君には、是非とも男女ともに切磋琢磨して、高邁な志を持った歯科医師を目指していただきたい。

2018年の医療施設に従事している歯科医師数(就業歯科医師)は、101,777人で男性76.2%、女性が23.8%です。年齢階級では50歳以上が過半数を占め、男性の割合が多いですが、20～30歳代では女性の割合が増加しています。今後20年以内に就業歯科医師数は減少し、供給不足が予測されています。向後は男女ともに歯科医師には生涯現役で活躍していくことが求められるでしょう。

(教授 口腔外科学第Ⅱ講座)

オピニオン

○恩師との出逢いは、高校時代に遡る。部活動（書道部）の顧問である。当時は、授業や部活動で書いた作品を指導してもらって生徒の一人だった。高校卒業後も、大学生、社会人と書道を続け、現在に至る。恩師と出逢ってから、早いもので20年以上が経つ。進学や就職など人生の節目に的確なアドバイスをしてくれる。「親父」のような存在だ。歳を重ねるとに力強く元気だ。恩師との出逢いは、私にとって、何ものにも代え難い大きな財産である。

小久保 洋一 (庶務課)

○2021年4月1日付人事異動により経済学部から歯学部会計課へ参りました伊藤と申します。着任からまだ3ヶ月も経っていませんので、分からない事ばかりですが、少しでもお役に立てるように努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。さて、私には小学5年生の息子がおりまして、歯磨き嫌いで困っています。注意してはいるのですが、歯磨き粉を付けなかったり、話しながら歯磨きをしたりするので、しっかりと磨けていません。幸いにしただけ虫歯はありませんが、親としては心配の種です。

伊藤 暁史 (会計課)

○歯学部本館Ⅱ期工事がまもなく竣工を迎えます！この建物には図書館・ラーニングcommons・講堂・実習室・研究室等が新設され、まさに今後歯学部の教育の中心となる建物です。歯学部本館のⅠ期・Ⅱ期工事をあわせた総工費は約150億円にも上ります。2013年に設計が開始されて以来、教職員・関連業者など多くの人達が竣工に向けて尽力してきました。そして2022年4月ついに1つの建物としてその運用が開始されます。多くの時間・労力・資金がかかっていることを皆様には認識していただき、新しい施設を有効かつ大切に使用していきましょう！

高橋 啓人 (管財課)

○歯学部では毎年4月、実験動物慰霊祭を両国の回向院で行っています。本来なら学部長・事務局長をはじめとした教職員、動物実験に携わる各講座から多くの参列者を得て行いますが、昨年・今年と新型コロナウイルス感染予防の為、研究事務課から1名が回向院に出向いて弔っていただいています。動物実験とは無関係な方も、歯学部だけで1年間で5,000近い命にご協力いただいていることを心に留め置いていただければと思います。

白井 宏尚 (研究事務課)

(所属は6月30日現在)

○新型コロナウイルス感染の拡大に終わりは来るだろうか。少し前まで、誰も予測していなかったことが起こり、当たり前の日々が幸せだったことに気付かされた1年だった。未来はどうなるかわからないからこそ、今ある日常を大切にしようと思えるきっかけにもなった。私たちは今後、この教訓を生かす必要がある。会いたい人には時間を惜しまず会いに行き、やりたいと思うことは積極的に行動に移していくことが大切だと感じた。コロナ禍で過ごした毎日は私にとって忘れられないものになるだろう。そして、いつか全てが落ち着いた時、マスクを外して思い切り笑い合いたい。

福本 真実 (教務課)

○新型コロナウイルス感染症対策として歯学部では、令和2年3月から学生行事の中止、クラブ活動の自粛・禁止の措置を行って。そのため、令和2、3年度に入学した学生達は、球技大会や桜歯祭などの経験がなく、クラブ活動にも参加できていない状況にある。学生行事やクラブ活動を通して、先輩・後輩のつながりの中で育まれることもあるのだが、この状況下では致し方ない。ワクチン接種の状況次第であるが、秋頃には諸活動が再開できることを願っている。学生の輝く笑顔が見たい。

吉村 利明 (学生課)

○学生時代、どんな本が置いてあるのかウキウキしながら大学の図書館へ行きました。固い専門書ばかりで、がっかりしました。職員になり、他学部を経て、本学の図書館に配属されました。歯学部へ早く馴染もうと書庫へ行ったところ、専門書だけでなく、一般書、医療漫画、初学者向けの読みやすい本が充実していました。どの本を読もうか、ワクワクする図書館でした。皆さんにとってワクワクする図書館であるよう、心がけて仕事をしています。

神尾 ひろ子 (図書館事務課)

○日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトe-Statに医療経済実態調査、医療施設（静態・動態）調査などがある。医療経済実態調査では、歯科診療所の平均的な収支を確認することが出来る。医療施設（静態）調査では、歯科診療所の何件が何曜日の何時まで開けているとか、インプラント治療を行っている件数が何件なども確認出来る。歯科医師は開業すると案外孤独であるから、このようなサイトを参考にすると良いのでは？

林 芳生 (管理課)

■ 附属専門学校が

歯科技工専門学校

令和3年度も、新型コロナウイルスの感染予防対策に取り組みながら開始となりました。歯科技工専門学校では、講堂や実習室での密集回避が可能なため、毎日の検温やマスク着用、手指消毒などの対策をとったうえで、講義も実習も登校して実施しています。

講義は、講堂にて対面で行っています。体調不良で登校できない学生に対しては、遠隔で受講できるようサポートしています。実習は、第1学年と第3学年が専門学校の実習室、第2学年が本館の第5実習室に分かれ、机上にアクリル製の仕切り板を設置して行っています。

今春、本校では14名の新入生を迎え入れることができました。入学式は中止となりましたが、新入生オリエンテーションで一同が顔をそろえ、新たな学生生活をスタートさせました。昨年度は入学早々にオンライン授業となった第2学年は、専門分野を中心に新たな科目にも取り組んでいます。第3学年は臨床的模型実習を行いながら、国家試験や実技評価試験に向けて勉強や実習に励んでいます。

6月に予定されていた球技大会が中止になりました。毎年、全学年混成チームで参加する本校においては、学年を越えて親交を深める機会となっていましたので残念です。感染症流行の終息を迎えた際には、交流の機会を設けたいと考えています。



歯科衛生専門学校

歯科衛生専門学校は、林誠校長、清水康平教務主任、第1学年担任の満足愛専任教員、第2学年担任の國井知余専任教員、第3学年担任の鈴石雅子専任教員、専門学校事務室の向井友美主事に加え、今年度から矢野杏佳専任教員が新たに本校のスタッフに加わりました。



令和3年度の在校生は現在、第1学年38名、第2学年29名、第3学年26名の計93名となっています。

第1学年は4月5日に1号館大講堂にて、校内オリエンテーションに参加し、教員紹介および年間カリキュラムの説明等を受けました。第2学年は専門科目の講義や実習が増え、11月の登院に向けて頑張っています。第3学年は卒業研究と並行し病院実習を行うなど忙しいながら充実した日々を送っています。

なお、授業形式におきましては、第1、2学年では遠隔授業と対面授業を国内における新型コロナウイルス感染状況に応じ、柔軟に切り替えています。また第3学年は国家試験全員合格を目指して忙しい毎日を送っています。コロナ禍による専門学校生活ではありますが、教職員一同、歯科衛生専門学校生が毎日充実したキャンパスライフを過ごせるように、全力でサポートおよび応援をしています。



歯学部 Web 進学相談会

	内容	定員	開催日時	申込期限
第2回	個別相談	20組	7月10日(土)	— (終了しました)
	校友子女選抜全体説明会	なし		
第3回	個別相談	20組	8月21日(土)	8月16日(月) 17時
	校友子女選抜全体説明会	なし		

●Webオープンキャンパス

歯学部ホームページで、学部長メッセージや歯学部紹介、模擬授業、校内見学動画を配信中。また、入試に関する質問フォームを開設しています。

●詳細は歯学部ホームページをご確認ください。

【問合せ先】

歯学部 教務課
03-3219-8002 E-mail: de.academic@nihon-u.ac.jp



学生支援室より

学生支援室では、皆さんが充実した学生生活を過ごせるように、様々な相談に応じています。どんなにささいなことでも、気になることや困っていることがあれば、気軽にご相談ください。

電話相談【03-3219-8051(支援室直通)】

ご家族からのご相談も受け付けています。内容について秘密が漏れることは一切ありませんのでご安心ください。3号館1階玄関をに入って右手奥に支援室の入り口があります。月曜日の昼休みは、本学教員が、水・木・金曜日の10時半～16時と火曜日の11時半～17時は、日本大学本部学生支援センター所属の臨床心理士が相談を担当しています(曜日ごとに担当するカウンセラーが異なります)。

※現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、電話相談が中心となっているため、詳しくは支援室へ電話にてご連絡下さい。



歯科技工専門学校 進学相談会

●開催日時

	開催日	時間	場所	備考
個別 相談会	7月18日(日)	9:00～13:00	専門学校 講堂	予約制 (体験実習 あり)
	8月2日(月)	14:30～19:00		
	8月20日(金)			
	8月30日(月) 9月10日(金)			
第2回	10月9日(土)	10:00～13:00	第5 会議室	駿技祭

※10月9日(土)については、個別相談と学校見学のみ実施
学部祭(桜歯祭・駿技祭・翔衛祭・NU祭)と同時開催予定

●会場

日本大学歯学部1号館 ほか

●実施内容

専門学校専任教員による個別進学相談、学校案内配布、過去入試問題、授業計画などの各種資料の閲覧、講堂や実習室などの校内見学及び、体験実習を実施。

【問合せ先】

附属専門学校 専門学校事務室
03-3219-8007 E-mail: de.ts@nihon-u.ac.jp

NewsPlus α

☆夏期期間中(7/10～9/3)の事務取扱等

学部事務取扱時間	
9:00～17:00 ※土・日・祝休業	
図書館開館時間	
7/12(月)～7/27(火)	9:00～21:00
7/28(水)～9/3(金)	9:00～18:00
※土・日・祝休館	
http://www2.dent.nihon-u.ac.jp/library/	
附属歯科病院	
9:00～17:00(月～金) 9:00～13:00(土)	

☆定期健康診断

4月30日(金)・5月1日(土)に本学部生、大学院生及び専門学校生を対象として、コロナ感染症予防対策をとりながら内科健診、胸部X線間接撮影、身長・体重測定等実施され、100%に近い受診率であった。

学 事

歯学部行事予定

- 7月 10日 (土) 第2回Web進学相談会
- 8月 21日 (土) 第3回Web進学相談会
- 10月 2日 (土) 大学院歯学研究科入学試験 (第1期)
- 4日 (月) 日本大学創立記念日
- 8日 (金) 桜歯祭
- 9日 (土) 桜歯祭・父母懇談会

入学者選抜等

令和3年度歯学部入学者選抜

一般選抜	試験日	志願者数	受験者数
N全学統一方式第1期	令和3年2月1日(月)	153名	122名
A個別方式	令和3年2月3日(水)	311名	270名
C共通テスト利用方式第1期	—	112名	108名
C共通テスト利用方式第2期	—	41名	41名

令和3年度大学院歯学研究科入学試験

		試験日	志願者数	受験者数
第1期	一般	令和2年9月26日(土)	4名	4名
	社会人		0名	0名
第2期	一般	令和3年3月6日(土)	17名	17名
	社会人		5名	4名

科学研究費助成事業交付決定者

☆基盤研究(B)

小林 真之 山本安希子

☆挑戦的研究(萌芽)

山本安希子

☆基盤研究(C)

近藤 真啓	今村 佳樹	篠田 雅路	藤田 智史
今井 健一	大橋 晶子	Cueno Marni	高山 忠裕
高見澤俊樹	黒川 弘康	清水 康平	小峰 太
飯沼 利光	外木 守雄	篠崎 貴弘	好土 亮介
山口 洋子	坪井 美行	大橋 一徳	人見 涼露
林 良憲	津田 啓方	武市 収	高橋 富久
浅野 正岳	中山 洵利	篠塚 啓二	野間 昇
岡田 明子	堤 博文	川戸 貴行	中野 善夫
林 誠	宮崎 真至	田邊奈津子	佐藤 秀一
二宮 禎	米山 隆之	小泉 寛恭	李 淳
小柳 裕子	澁田 郁子	白川 哲夫	田村 宗明
神尾 宜昌			

☆若手研究

蓮池 聡	西尾 健介	古川 明彦	玉川 崇皓
青木 淳也	渡辺 孝康	間中総一郎	木村 文晃
本田 順一	浦田健太郎	石山 未紗	村山 良介
中谷 有香	石井 亮	崔 慶一	尾崎 愛美
平場 晴斗			

☆研究活動スタート支援

相馬 久実 千喜良 緑 川崎 詩織

研究者・研究機関担当者の方へ
科研費の公募開始時期・公募締切時期が早まります。
 令和4(2022)年度科研費の
内定時期の早期化に伴って
公募・締切時期の変更について
 研究者の方々のご要望を踏まえ、従来4月1日に交付内定を行っていた研究費の採択通知時期を早め、年度当初から研究体制を整え、研究実施をより効率的に進められるよう、前年度中に採択の結果を通知します。これに伴い、公募開始時期・公募締切時期が早まります！

主な種目の令和4(2022)年度公募・内定時期(予定)			
研究種目名	公募開始時期	公募締切時期	内定時期
基礎研究(A)	令和3年7月上旬	令和3年9月上旬	令和4年2月末
基礎研究(B)	令和3年8月上旬	令和3年10月上旬	令和4年2月末
基礎研究(C)	令和3年8月上旬	令和3年10月上旬	令和4年2月末
若手研究	令和3年8月上旬	令和3年10月上旬	令和4年2月末

※4月1日交付内定以外の研究種目についても、公募・内定時期の早期化を進めています。(7月・8月に内定時期を公表予定。)

詳しくはWEBサイトをご覧ください
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/06_jsps_info/q_210408/index.html
 科研費 文部科学省研究振興局学術研究助成課 独立行政法人日本学術振興会研究事業部

学生生活

特待生と奨学生

= 日本大学特待生 =

第2学年	中島真紀紗(乙)	第5学年	小見山 奏(甲)
第3学年	高嶋 優也(乙)	第6学年	秋山 恵夢(乙)
第4学年	青木 真由(乙)		

= 佐藤奨学生 =

〈第1種〉

(歯学部)			
第2学年	浅本 実樹	天野 真末	池澤 桃香
	小林汰久郎	西田 裕貴	二ツ谷和那美
第3学年	内本 侑那	河野 令華	田崎 亜実
	橋本 紋伽	一ツ子綾乃	福田 季央
第4学年	大倉万莉菜	大西美紗希	上林ちひろ
	工藤 玲	酒井 皓子	早苗 優貴
第5学年	飯村宗一郎	大沼 咲奈	松井 梨乃
	松浦 孝将	山口 祐佳	横山 裕乙
第6学年	篠原 理恵	手塚 悠	西田 有沙
	西村 優香	比嘉 真実	八島 祐希

(歯科技工専門学校)

第2学年 平山 綾乃
 第3学年 渡邊すみれ

(歯科衛生専門学校)

第2学年 小池 真咲 岡本 彩里
 第3学年 水野留理子 清水さくら

〈第2種〉

(歯学部)

第6学年 尾崎 恵悟 西原 佑哉 峯村 祐貴
 武藤 玲 山 由起

=日本大学古田奨学生=

高橋 奈央 (大学院第4学年 歯学専攻)

=日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生=

杉村 留奈 (大学院第4学年 歯学専攻)

=歯学部同窓会奨学生=

(歯学部)

第6学年

相川 慶郎 小口 宗子

(歯学研究科)

第4学年

小笹 佳奈 杉村 留奈 高橋 奈央
村上 尚希 横江 将